

校長室の窓から

令和3年3月24日（水）

「令和2年度修了式」

Good morning, everyone. Time really flies. Today is the very last day of this school year. This year all the people in the world have experienced the days that we have never had before. Under the Corona Virus, you have had more difficult days than happy days. However, you have overcome many troubles. I'm sure you will be the winners! I am very proud of you, and you must be proud of yourself, too.

みなさん、おはようございます。時が過ぎるのは本当に早いもので、今日が令和2年度最後の日となりました。今年は私たちだけではなく世界中の人たちが、これまでに人類が経験したことがないコロナ禍の毎日を送った1年でした。みなさんも高校生として学校の内や外で様々な制限があり、楽しいことよりもむしろ不安なことの方が多い1年だったかもしれません。

しかし、そんな中であってもみなさんは先生方の指導に従い、安全安心な学校生活を実現してくれました。みなさんの協力に対して感謝すると同時に、みなさんのこの1年間の成長を頼もしく感じています。この1年間、厳しい状況の下で部活動や学習でも最後まで頑張り抜いたこと、そして成果を上げたという経験は、みなさんのこれからの人生において必ず力になってくれると思います。

さて、今日が1年の終わりということは、見方を変えると、今日は次の1年の始まりでもあります。新学年を間近に控えたみなさんの瞳には、今どのような世界が映っているのでしょうか？学校の中庭や厳木駅の周辺では桜が美しく咲き誇り、周りでは鳥たちが美しい声で春の訪れを告げています。全国



に目を向けると、甲子園球場では全国から球児たちが集い、去年はコロナのために開催できなかった選抜大会で2年分の思いを込めて熱戦を繰り広げています。野球以外にもアーチェリーや柔道など多くの競技の選抜大会が全国各地で開催されています。また県内でも、バスケットボール、バレーボール、野球など数多くの春季大会が開催されています。まだ

これからも一定の制限は継続されるでしょうが、去年はできなかった色々な大会や行事ができる、そんな1年になりそうな予感、期待をもてる毎日です。

さて、みなさん自身の変化は感じられていますか。大きな変化ではなくとも、自分が気づいていない小さな変化がきっと起きているはずですよ。



例えばみなさんは先週の金曜日、学校で進路ガイダンスに参加しました。

様々な専門分野の模擬授業を受け、プロの仕事を体験したり職業に関する専門的な話を聞いたりして、一層興味がわいた、自分もプロとしてやってみたい、気持ちが前向きになった人がたくさんいたはずですよ。

その後、1年生はマナー・面接指導を受け、意識を持つことで見違えるほど素晴らしい、心のこもった、思いが伝わる挨拶とお辞儀ができるようになりました。「立派な社会人に一歩近づいた」と感じたのではないのでしょうか。



また、2年生は履歴書指導を受け、履歴書の大切さや、どう



すれば自分の強みや個性を企業の方に効果的に伝えられるか、また、履歴書を面接にどうつなげるかなど具体的に話していただき、「就職試験が他人事ではなく、より身近な自分のこと」として感じられたことだと思います。

就職や進学の目標実現や部活動での活躍、あるいは資格取得など一人ひとりが夢を抱いて、いよいよ進級します。小さな成長や変化を大切にして、思いを言葉に、そして言葉を行動に、そして行動を継続して、これからの1年さらに大きく飛躍してくれることを期待します。そのためにも明日からの春休み、みなさん一人ひとりが、高校生らしい毎日を送り、誰一人として事件や事故に巻き込まれることなく、4月6日の始業式にまた今日のような元気な顔で登校し、今年を上回るさらに素晴らしい充実した1年のスタートとなることを心から願い、私からの話とします。